

バス路線再編に関する地域意見交換会等の開催結果（報告）

1 府中市バス路線の再編に関する地域意見交換会の開催結果

趣旨

バス路線再編案の検討に当たって、地域の方にバス事業の厳しい現状を把握してもらうとともにバス路線の再編についてのご意見を伺うため地域意見交換会を開催しました。

参加状況

自治会長宛の通知文、広報ふちゅう（4月1日号）及び市ホームページで周知、オンラインで参加受付をし、参加者数は延べ115人でした。（各回定員30名、当日参加可）

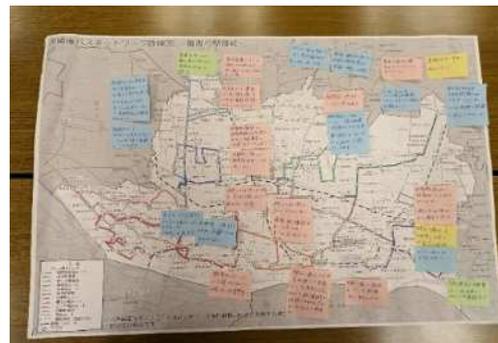
会場	日時	参加者数
中央文化センター	4月12日（金） 午後7時～8時	5名
西府文化センター	4月15日（月） 午後7時～8時	15名
白糸台文化センター	4月16日（火） 午後7時～8時	10名
住吉文化センター	4月18日（木） 午後7時～8時	7名
武蔵台文化センター	4月20日（土） 午前10時～11時	9名
新町文化センター	4月20日（土） 午後2時～3時	14名
片町文化センター	4月22日（月） 午後7時～8時	7名
紅葉丘文化センター	4月23日（火） 午後7時～8時	18名
四谷文化センター	4月25日（木） 午後7時～8時	4名
押立文化センター	4月27日（土） 午前10時～11時	7名
是政文化センター	4月27日（土） 午後2時～3時	19名
		115名

内容（参照：参考資料1～4）

説明15分、グループワーク40分、まとめ5分で、人数に応じて最大3グループで意見交換を行いました。



説明



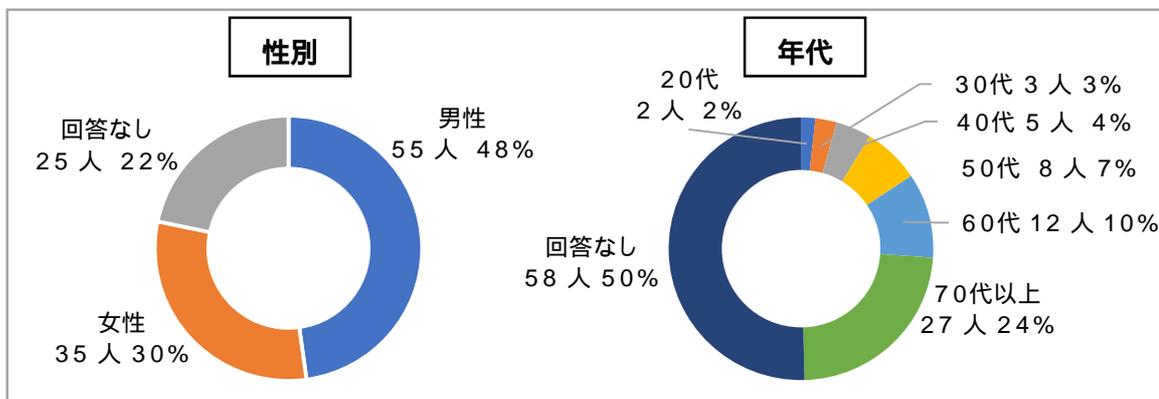
グループワーク

参加者の属性

参加者の性別の割合は、男性48%、女性30%、回答なしが22%でした。

年代は、70代以上が24%と最も多い状況です。

なお、申込時点で回答していない方及び当日参加の方は「回答なし」に計上しています。



意見内容

地域意見交換会で出た意見のうち、主なものは次のとおりです。

項目	意見の要約（生成AI使用）
ルート（運行道路、起終点、経由地）	<p>新たなバスルートの要望</p> <p>新町や天神町での東西移動の需要、多磨駅周辺の商業施設へのアクセス、八幡町周辺の路線バスの設置など、新たなバスルートの要望が多く寄せられています。また、西府駅へのアクセスを増やしてほしいという意見もあります。</p> <p>府中駅への接続の重要性</p> <p>府中駅への接続を維持することが重要であり、日用品以外の買い物や通勤の需要が多いことから、府中駅行きのバスルートを減らさないでほしいという意見が多いです。</p> <p>高齢者や地域住民の利便性向上</p> <p>高齢者や地域住民の利便性を向上させるため、小回りが効くルートや住宅の近くを通るルート、公共施設へのアクセスを重視したルートの設置が求められています。特に、西府文化センターやオーケーストアなど、西府駅周辺の施設へのアクセスを求める意見がありました。</p>
サービス（時間帯、頻度、料金等）	<p>運賃と利便性</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの参加者は、運賃を100円に維持することを望んでいますが、一部は200円でも良いと考えています。 シルバーパスの利用可能性に関する意見が多く、高齢者にとっての利便性が重要視されています。 頻度や運行ルートに関する意見もあり、利用者のニーズに合わせたサービス改善が

	<p>求められています。</p> <p>運行スケジュールとルート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間帯によるルート分けが分かりにくいとの意見があり、よりシンプルでわかりやすい運行を望む声があります。 ・運行頻度の増加や、特定の時間帯での運行に関する要望が寄せられています。 <p>サービスの質と運転手の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転士による対応の差に関する意見があり、一貫したサービスの提供が求められています。 ・乗り継ぎの利便性や、運行の定時性に関する意見も見られます。
バス停	<p>新たなバス停の設置要望</p> <p>競馬場外周から府中駅、日新町一丁目北交差点付近、NEC前、西府駅南口、分梅町三丁目付近、農工大裏門、第九小学校～学園通郵便局の学園通り、四谷一丁目～中河原駅、押立町四、五丁目、府中街道を經由して稲城市立病院、大東京綜合卸売センター、サントリー、押立町ルートが多摩川エリアなどにバス停を設置してほしい。</p> <p>バス停の改善要望</p> <p>ベンチや屋根の設置、点字ブロックの設置、バス停のセットバック、バス停の間引き、バス停の位置変更、バス停での段差や隙間の解消、バス停で座って待つための設備の設置など。</p> <p>利用者の利便性向上</p> <p>バス停の設置や改善により、視覚障害者や高齢者、妊婦、赤ちゃん連れの方、車いすやベビーカー利用者などの利便性を向上させることが求められています。</p>
その他	<p>運行に関する要望</p> <p>自由乗降の導入、運転士の確保、バスの運行見直しなどの要望が多く寄せられています。</p> <p>高齢者や障害者の利便性向上</p> <p>高齢者や障害者にとってバスの利用が重要であり、デマンド交通の導入など、利便性を向上させるための提案が多くあります。</p> <p>地域の交通インフラの充実</p> <p>地域全体の交通インフラを充実させるため、バス以外の移動手段の検討や、他市の事例を参考にしたサービスの向上が求められています。</p>

2 府中市バス路線の再編に関するアンケートの実施結果

趣旨

地域意見交換会の開催結果を踏まえ、更にちゅうバスの利用者等から幅広いご意見をいただくためアンケートを実施しました。

期間

令和6年5月17日(金)～5月31日(金)

回答方法・回答数

原則オンラインフォームからの回答とし、オンライン回答できない方については、文化センターに配架した調査票に記入いただいた内容を事務局でフォームに入力しました。

2週間の実施期間で回答数は、959件でした。

質問内容

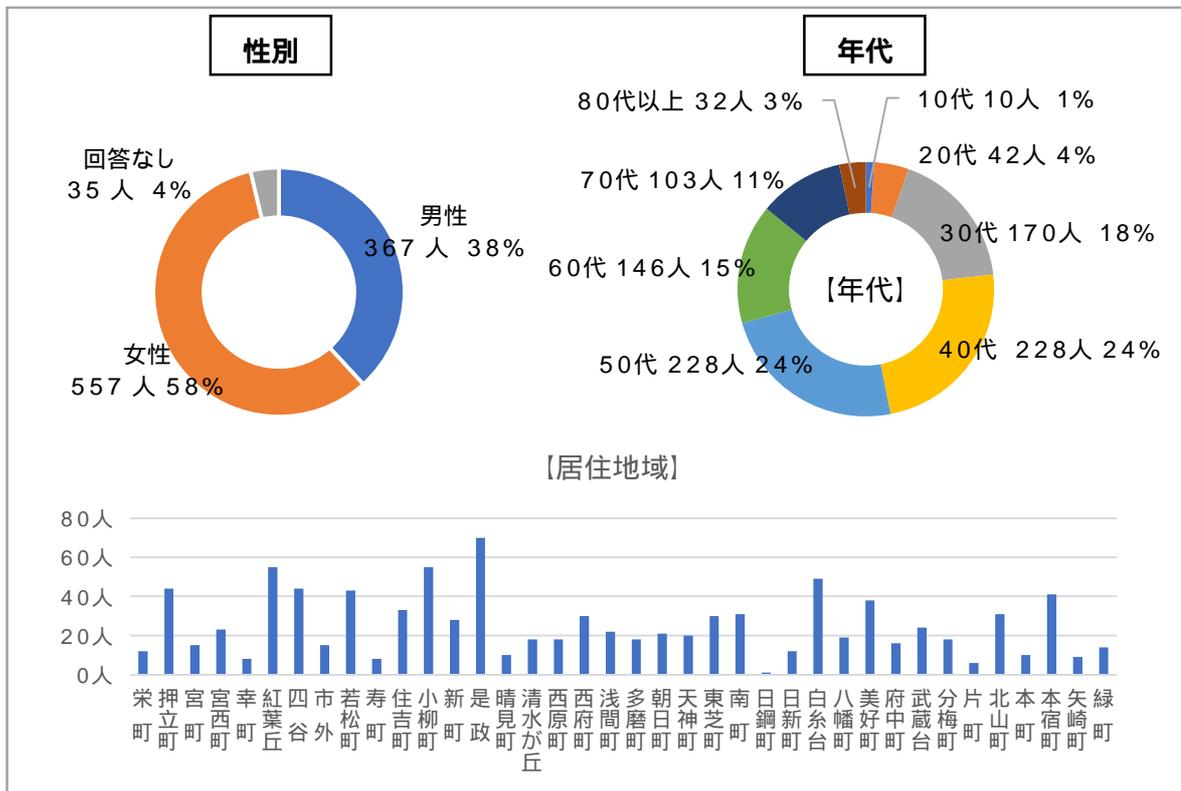
意見交換会の主な論点である、ちゅうバスの最寄り駅接続又は府中駅接続のバス路線案たたき台や、運賃設定に関して選択式で回答していただいたほか、バス停その他の事項について自由記述欄を設けました。なお、前提条件を把握していただくため、地域意見交換会の資料を確認することを必須としています。

回答者の属性

回答者の性別の割合は、男性38%、女性58%、回答なしが4%でした。

年代は、30代から60代までで全体の81%を占めています。

居住地域としては全域から回答があり、市域東側の地域の回答者数が多い状況です。



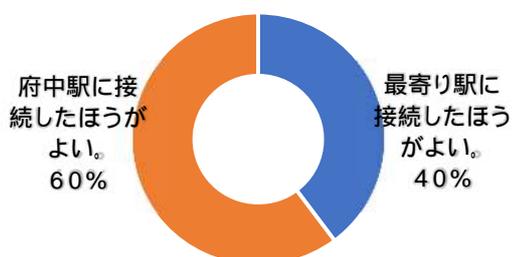
回答内容

今後のちゅうバス路線の考え方については、「府中駅に接続したほうがよい」が60%、「最寄り駅に接続した方がよい」が40%でした。

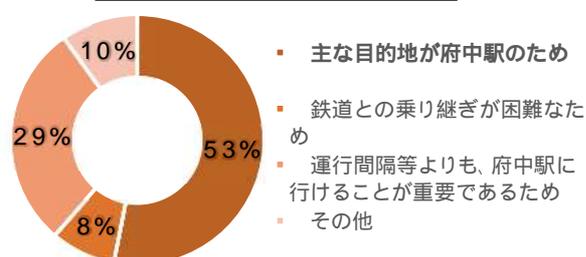
府中駅接続案と最寄り駅接続案の組み合わせについては、「時間帯ではなく路線・エリアごとに考え方を分けた方がよい」が35%、「分かりにくくなるため組み合わせないほうがよい」が29%であり、時間帯分けに否定的な意見が合わせて64%となりました。

ちゅうバスの運賃については、「運賃の値上げはやむを得ない」が67%、「運賃は現状維持が望ましい」が33%となりました。

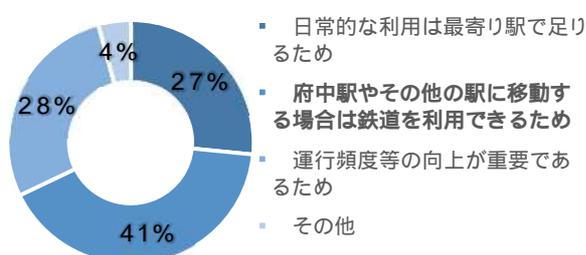
今後のちゅうバス路線の考え方について、
どちらが望ましいと思いますか。



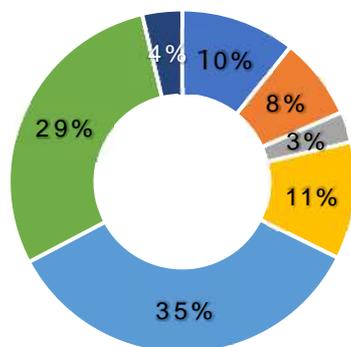
府中駅接続の方がよいと思う理由は何ですか



最寄り駅接続の方がよいと思う理由は何ですか

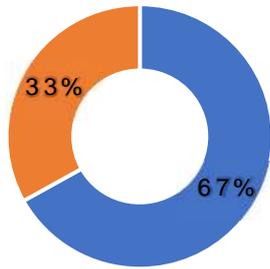


最寄り駅接続案と府中駅接続案を組み合わせる場合、
どのような組み合わせが適切だと思いますか



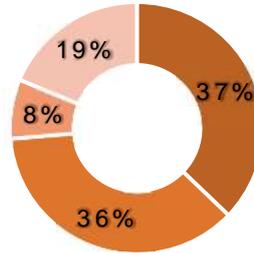
- 朝夕の時間は最寄り駅に接続したほうがよい。
- 朝夕の時間は府中駅に接続したほうがよい。
- 日中の時間は最寄り駅に接続したほうがよい。
- 日中の時間は府中駅に接続したほうがよい。
- 時間帯ではなく路線・エリアごとに考え方を分けたほうがよい。
- 分かりにくくなるため組み合わせないほうがよい(どちらかに統一したほうがよい。)
- その他

ちゅうバスの今後の運賃設定についてどう思いますか、また、その理由は何ですか。



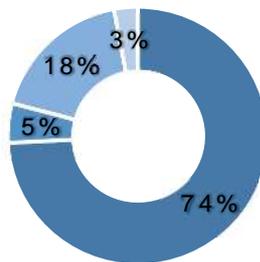
- 運賃の値上げはやむを得ない。
- 運賃は現状維持が望ましい。

現状維持が望ましいと思う理由



- 頻繁に利用するため
- 交通弱者(高齢者、障害者等)であるため
- 現金で支払っているため
- その他

値上げはやむを得ないと思う理由



- バスなどの公共交通を維持するうえで必要なため
- 路線バスは値上げされたため
- 市の補助額(市民の負担額)が増加するなかで、ちゅうバスを利用しない(頻繁に利用しない)人にとって不公平なため
- その他

アンケートの自由意見のうち、主なものは次のとおりです。

項目	意見の要約(生成AI使用)
最寄り駅接続の方がよいと思う理由	<p>最寄り駅へのアクセスの重要性</p> <p>多くの利用者が最寄り駅での買い物などを主な目的としており、最寄り駅へのアクセスが重要視されています。また、府中駅以外の駅や施設へのアクセスも求められています。</p> <p>運行の効率化と利便性向上</p> <p>府中駅に集中することなく、最寄り駅や他の主要施設へのアクセスを確保することで、運行の効率化や利便性の向上が期待されています。特に、乗り継ぎ割引や負荷分散の必要性が指摘されています。</p> <p>地域全体の活性化と持続可能性</p> <p>府中駅以外の地域の発展や、市全体の活性化を図るために、最寄り駅への接続が重要とされています。また、運賃の維持や運行の持続可能性を考慮した意見も多く見られます。</p>
府中駅接続の方がよいと思う理由	<p>○府中駅接続案の利点</p> <p>商業施設が集中する府中駅目的地へ直接行けるため、利用客が増える可能性が高いほか、雨の日など最寄り駅まで歩くことを考慮すると、府中駅接続の方が便利との意見が見られました。</p>

	<p>市役所へのアクセス重視</p> <p>市役所での手続きや申請が多いため、府中駅接続は重要との意見が見られました。</p> <p>交通弱者の利便性向上</p> <p>高齢者や身体障害者にとって、乗り継ぎのない府中駅接続は移動の負担を軽減すると指摘されています。</p>
<p>最寄り駅接続案と府中駅接続案を組み合わせる場合</p>	<p>○ルートを選択</p> <p>多くの人々が府中駅接続案を支持しています。しかし、一部の人々は最寄り駅接続案を支持し、また一部の人々は時間帯によって最寄り駅と府中駅を交互に利用することを提案しています。</p> <p>利用者のニーズ</p> <p>利用者のニーズは多様で、通勤、通学、買い物、病院への通院などが含まれています。高齢者や身体障害者の利便性を確保することが強調されています。</p> <p>運行の効率化</p> <p>一部の人々は運行の効率化を提案しており、例えば、乗り継ぎ制度の設定や運行間隔の調整などが提案されています。</p>
<p>運賃現状維持が望ましいと思う理由</p>	<p>○運賃の現状維持の理由：</p> <p>多くの回答者は、運賃の現状維持が望ましいと考えています。これは、高齢者や交通弱者が利用しやすいようにするためです。</p> <p>サービス改善の要望</p> <p>一部の回答者は、運賃を上げる場合は、バスの頻度を増やすことを望んでいます。また、新たなルートの開拓や運行時間の拡大など、サービスの質を向上させる提案もありました。</p> <p>運賃上昇への懸念</p> <p>運賃が上がると、利用者が減少する可能性があるとの懸念が示されています。特に、高齢者や障害者、子育て世代など、運賃上昇が生活に大きな影響を及ぼす可能性がある人々からの反対意見が多く見られました。</p>
<p>値上げはやむを得ないと思う理由</p>	<p>○バス運賃の値上げの必要性</p> <p>バス運賃の値上げは、運行維持のために必要であり、物価上昇や他の交通手段との比較からも妥当であるという意見が多いです。</p> <p>高齢者や障害者の外出機会への影響</p> <p>値上げにより高齢者や障害者の外出機会が減少することを懸念する声もあり、そのために割引制度などの対策が求められています。</p> <p>収益の活用</p>

	<p>値上げによる収益は、運行時間の拡大や本数の増加、定期券の発行など、サービス向上に活用すべきだという意見もあります。</p>
バス停について	<p>○バス停の設備について</p> <p>ユーザーは歩道に屋根やベンチなどの設備があると良いと感じています。特に雨や日差しの強い日にバスを待つのは大変で、上屋の設置を望んでいます。</p> <p>バスの路線について</p> <p>狭い道路でのバスの通行は危険であるとの意見があり、主要道路と狭い道路でバスの種類を分けることを提案しています。また、バスの路線が重複しないようにすることも提案されています。</p> <p>バス停の情報提供について</p> <p>バス停に次のバスの位置情報を表示することを望んでいます。特に高齢者の方々はスマートフォンで位置情報を確認しないため、バス停でその情報を得られると便利だと考えています。</p>
その他について	<p>○バス運賃についての意見</p> <p>バス運賃の値上げについて、一部の利用者は維持のためならばやむを得ないと考えています。しかし、一部の高齢者はシルバーパスが使えるれば値上げも問題ないという意見を持っています。運賃に対する意見は分かれており、利用者の立場によって異なります。また、金額を距離で決めても良いという意見もあります。</p> <p>地域バスの意義と経費について</p> <p>地域バスの意義として、ある程度の経費は必要という意見があります。また、バスが充実してきたと感じている利用者もいますが、今回のアンケートでいろいろな問題があることが分かったとの意見もあります。地域バスの運営には、経費と利便性のバランスを取る必要があることが示唆されています。</p>